

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

(2006年1～3月期)

第40回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - （1）前期比（平成17年10～12月との比較）
 - （2）前年同期比（平成17年1～3月との比較）
 - （3）来期見通し（平成18年4～6月の見通し）
5. 業種別の景気動向
 - （1）製造業
 - （2）建設業
 - （3）卸売業
 - （4）小売業
 - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	192社
回答率	38.4%
(業種別)	
製造業	65社
建設業	39社
卸売業	20社
小売業	31社
サービス業	37社
合計	192社

(2) 実施時期

平成18年1～3月期（平成18年4月に実施）

(3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売 上 D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採 算 D I = (好転 //) - (悪化 //)

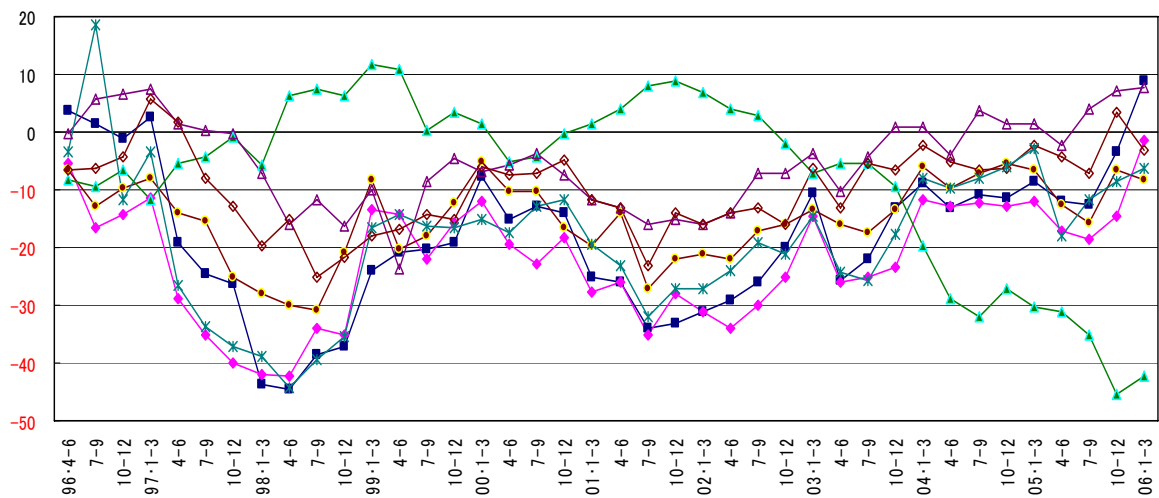
資金繰り D I = (好転 //) - (悪化 //)

仕入価格 D I = (下落 //) - (上昇 //)

雇用状況 D I = (不足 //) - (過剰 //)

設備投資 D I = (拡大 //) - (減少 //)

業 況 D I = (好転 //) - (悪化 //)



前年同期比 (全企業D Iの推移)

	7-9	10-12	04/1-3	4-6	7-9	10-12	05/1-3	4-6	7-9	10-12	06/1-3
■売上	-22.0	-13.1	-8.9	-13.2	-10.8	-11.3	-8.7	-12.1	-12.6	-3.3	8.8
◆採算	-25.0	-23.4	-11.7	-12.8	-12.2	-12.7	-12.0	-17.2	-18.6	-14.6	-1.5
●資金繰り	-17.4	-13.5	-6.1	-9.6	-7.0	-5.4	-6.7	-12.6	-15.6	-6.6	-8.2
▲仕入価格	-5.5	-9.4	-19.7	-28.8	-31.9	-27.0	-30.3	-31.2	-35.2	-45.3	-42.3
△雇用状況	-4.2	0.8	0.9	-4.1	3.8	1.5	1.4	-2.3	4.0	7.1	7.7
◇設備投資	-5.5	-6.6	-2.3	-5.0	-6.6	-6.4	-2.4	-4.2	-7.0	3.3	-3.1
*業況	-14.8	-17.6	-8.0	-9.6	-8.0	-5.9	-2.9	-18.1	-11.6	-8.5	-6.2

3. 概況

「売上D I 値が9年ぶりにプラス」

(1) 今期の特徴

前期比のD I 値は、年度末ということもあり、全般的に回復をみせた。ただ、小売業のみマイナスと消費低迷は根強い。

前年同期比のD I 値は、売上が97年1～3月期以来、実に9年ぶりにプラスに転じた。前回調査まで足を引っ張っていた建設業が、台風14号の復旧工事、年度末完成工事で一息ついたものと思われる。ただ、大型S C等競争激化が続く小売業が依然として厳しい。

(2) 来期の見通し

9年振りにプラスに転じた売上D I を始め、全項目でマイナスとなってしまう。ワールドカップ需要を見込むデジタル家電向け製造、とサービス業がプラスであるが、年度末を終えた建設業、卸売業がマイナスに転じる。こちらでも、小売業の数値が厳しく、引き続き「個人消費低迷」と「競争激化（大型S Cの影響含む）」が続いている模様。

原油高騰による原材料、仕入れ価格のアップに厳しい見方。また、「人口減」、「高齢化」による需要減への不安コメントもみられた。

(3) 経営上の問題点

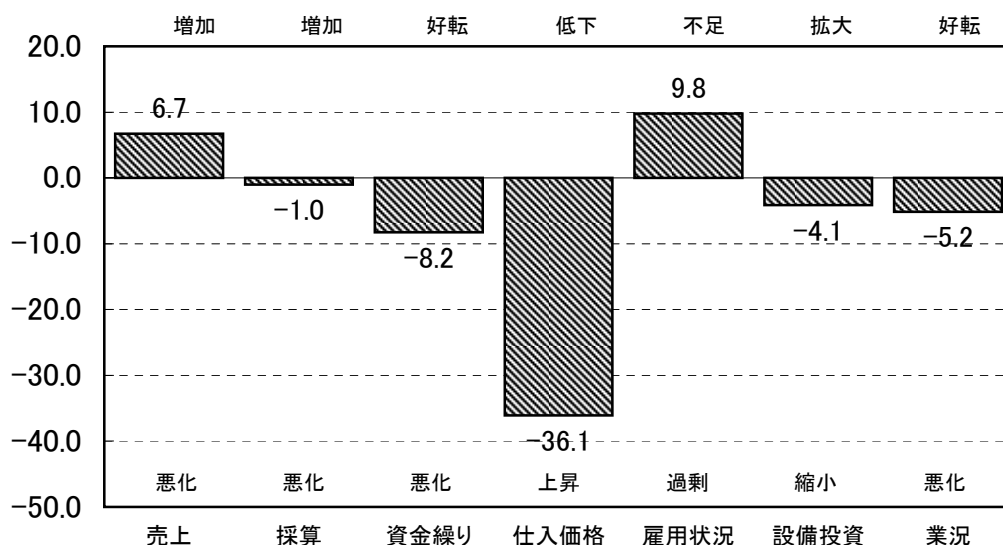
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が圧倒的1位で、県内景気が本格回復になっていない模様。2位に「原材料価格の上昇」、3位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」の上位3つは前回のままとまっている。

(4) 今後の対応策

今回も、「その他合理化を実施したい」と「新規市場を開拓したい」が今後の対応策の二本柱。3位には前回同様に「人件費を削減したい」と「新製品の開発を行いたい」が同じ件数であった。

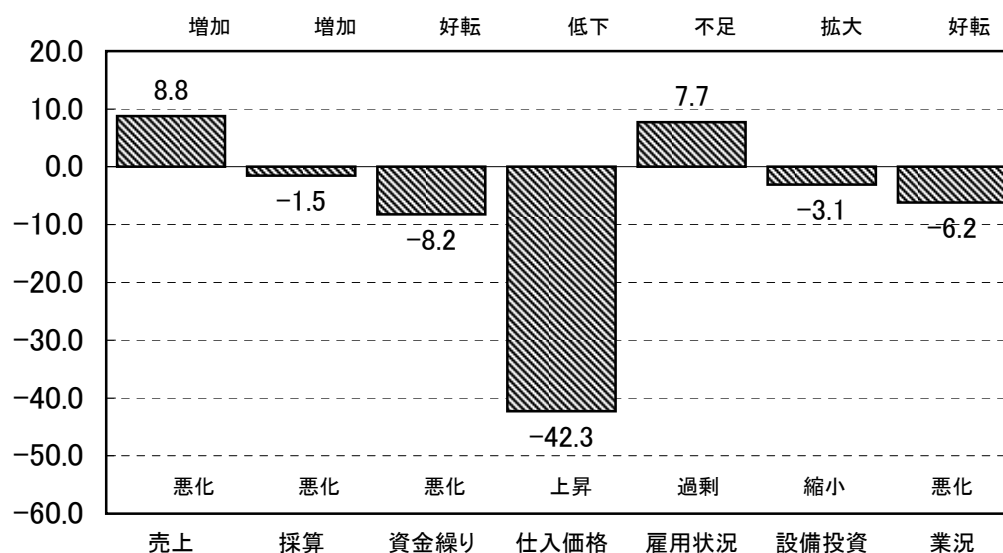
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成17年10～12月比)



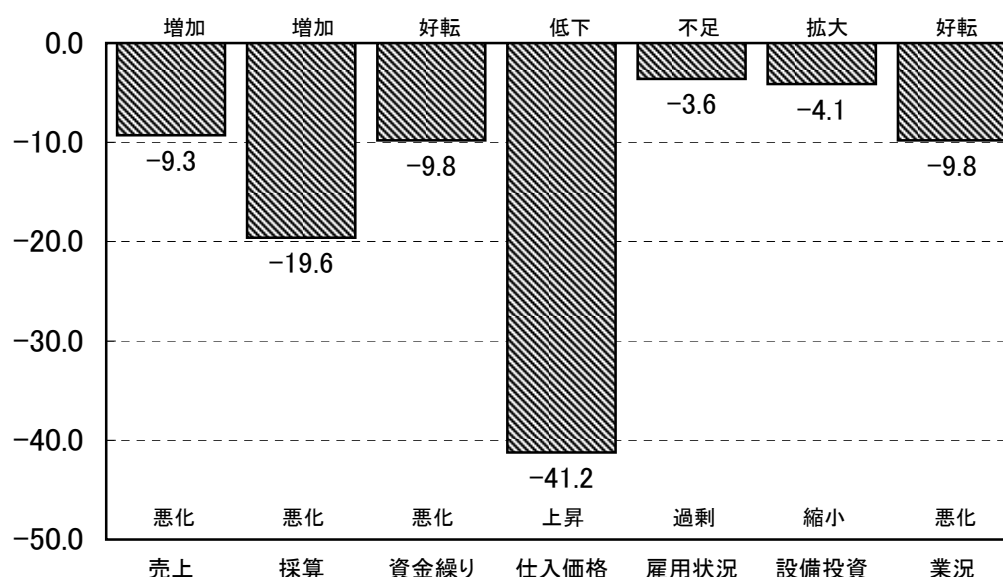
年度末ということもあり、前期比D Iは、小売業以外はプラスとなった。小売業のマイナスは、「イオンS C」の影響や個人消費低迷から完全には脱却できていないことが伺える。

前年同期比(平成17年1～3月比)



前年同期比D Iも小売業以外はプラス。公共工事削減が続いている建設業も台風14号復旧工事で一息ついている。小売業に関しては、「個人消費の不振」と「競争激化」が続いている模様。

来期見通し(平成18年4～6月見通し)

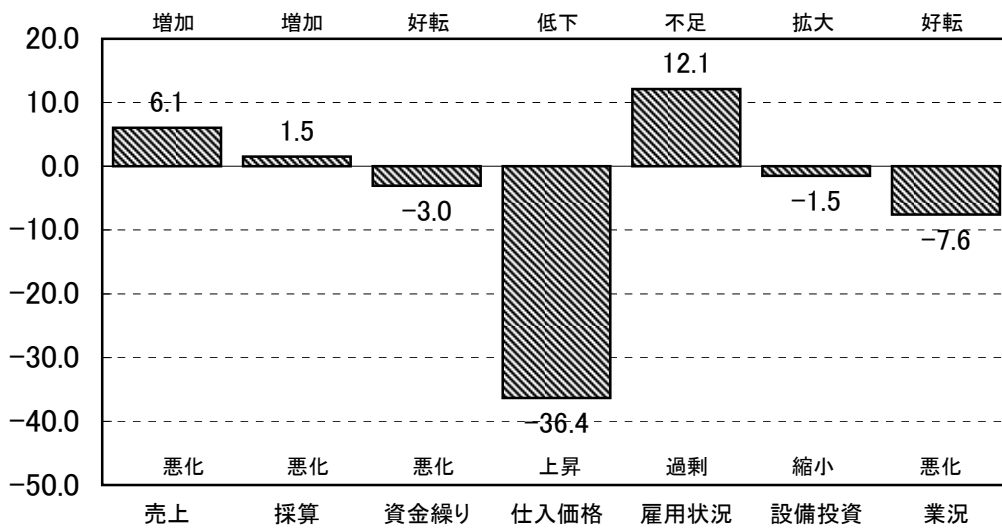


来期見通しD Iは、建設業、卸売業、小売業が足を引っ張り、マイナス。建設・卸は、年度末需要の翌期であるためとみられるが、小売については、依然として不振が続くと予想している。人口減・高齢化等長期的な不安も聞かれた。

5. 業種別の景気動向

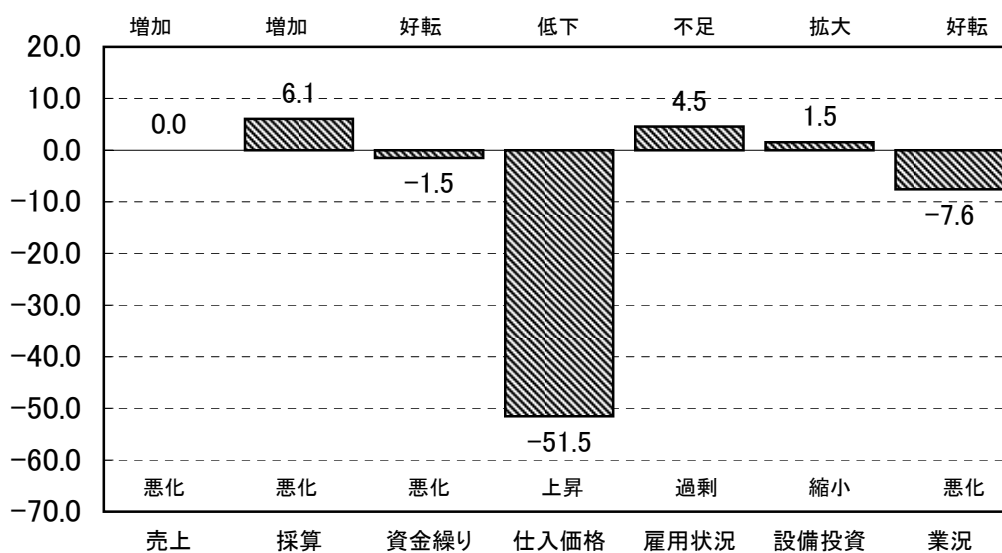
(1) 製造業

前期比(平成17年10～12月比)



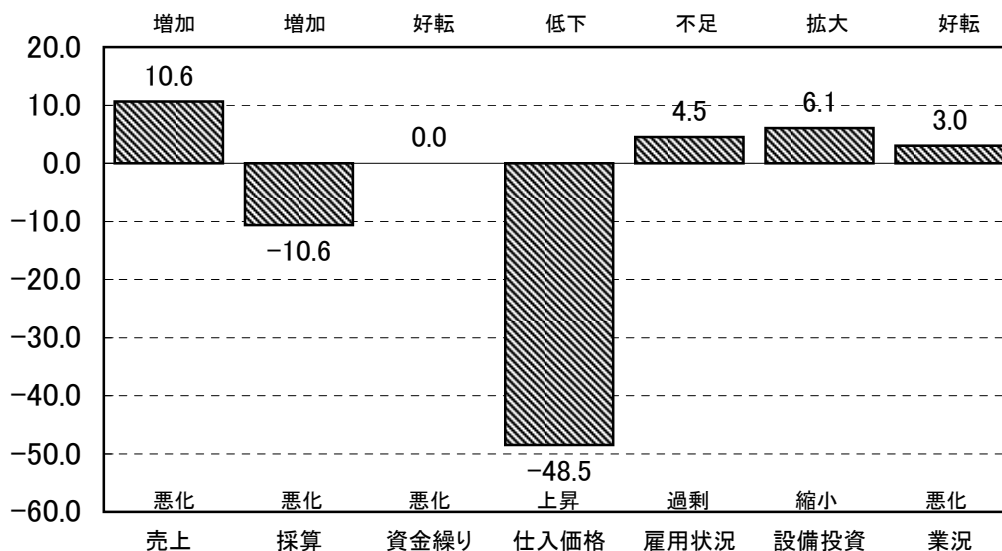
「仕入価格向上」、「原材料の値上げ」等原油高騰が足を引っ張るも、一方では、「景気回復による需要増」、「半導体製造関連部品が増加」等受注増の声も聞かれた。前期比DI値は、前回調査より若干悪化したもののプラスを保っている。

前年同期比(平成17年1～3月比)



「携帯電話・デジタル家電の好調な需要」（化学工業）、「半導体製造関連部品好調」（鍛造・機械加工）と一部業態では、好調。一方、原材料の値上がりと「製品価格への転嫁ができない」ため、仕入価格DIは大きくマイナスとなった。

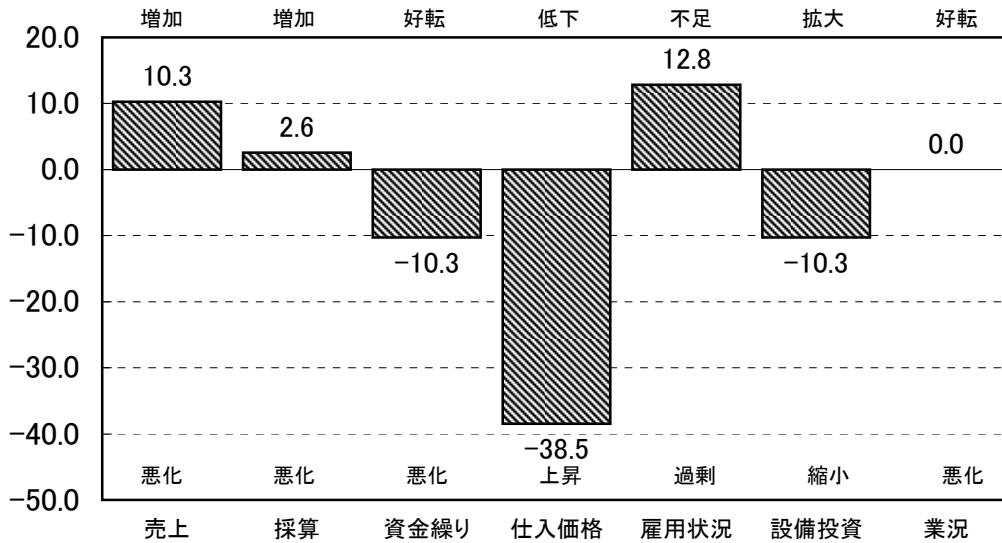
来期見通し(平成18年4～6月見通し)



原油高による燃料費アップ、原材料高について引き続き懸念の声が聞かれた。一方、県北の機械器具・鉄鋼/鉄工、県南の製材が好調見込み。全体では、前回調査より悪化しているが、売上業況はプラスを維持している。

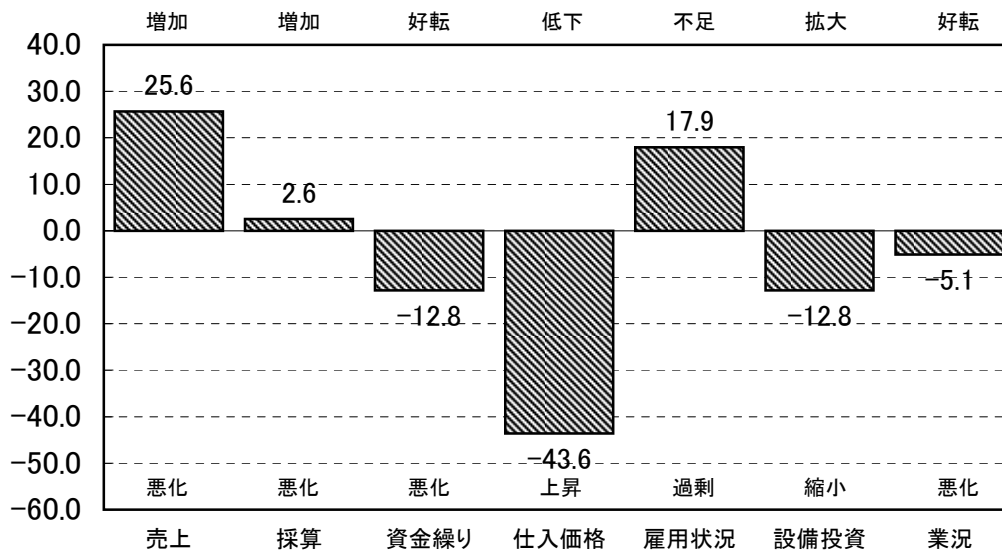
(2) 建設業

前期比(平成17年10～12月比)



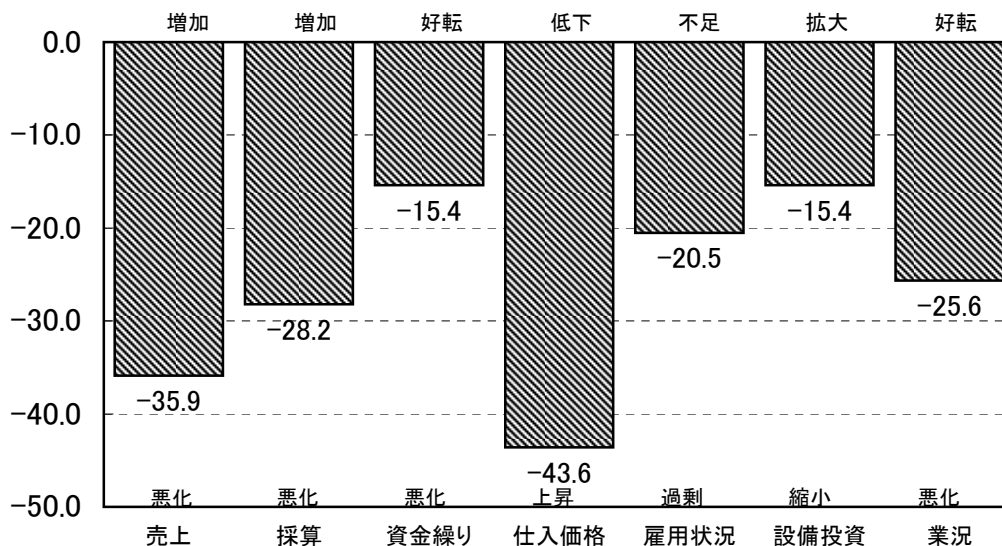
やはり、「公共工事の減少」、「利益率の低下」を嘆く声が多い。ただ、今期は、年度末にあたり、「まとまった仕事量があった」ためか、前回調査とほぼ同じDI値であった。

前年同期比(平成17年1～3月比)



公共工事減→仕事量減→競争激化→利益率悪化は相変わらず。ただ、昨年度の台風14号の復旧工事によるものか、前年度同期よりも完成工事高も昨年より増えたようで、前年同期比DI値は前回調査値を上回りプラスとなった。

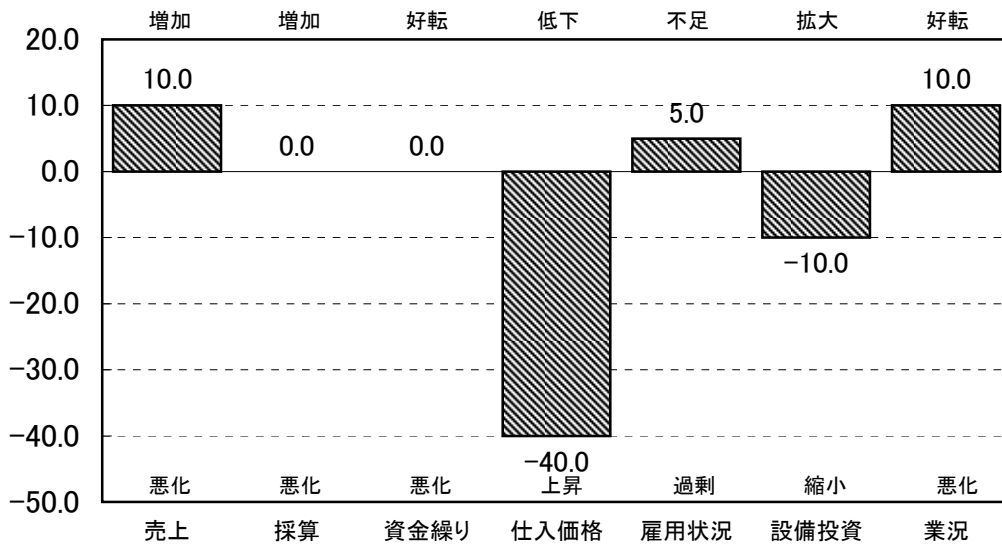
来期見通し(平成18年4～6月見通し)



昨年の台風14号の復旧工事を受注した企業は好転を見込むものの、今期が年度末需要であるための反動もあり、来期見通しは大幅に悪化している。また、公共工事減、民間工事での競争激化は相変わらずのようである。

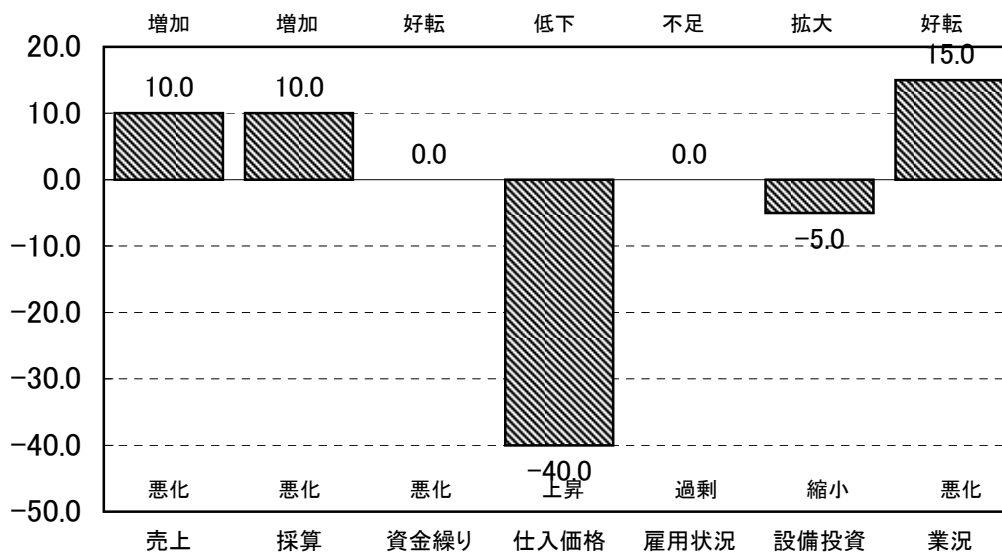
(3) 卸売業

前期比(平成17年10～12月比)



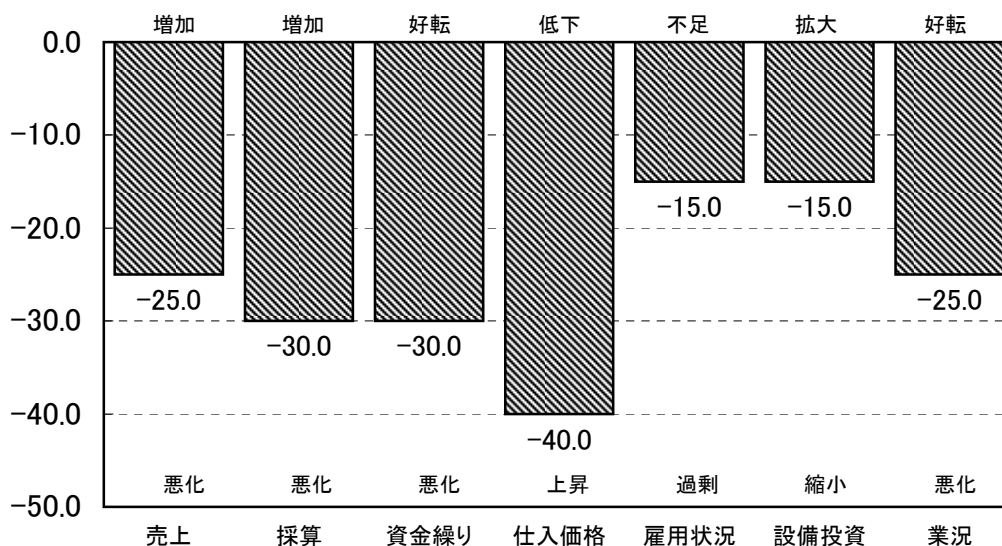
「公共工事の減少」(建築資材卸)、「年度末需要の反動」(食品卸)らもあり、前回DI値を下回ったものの「年度末特需」(紙文具事務機卸)等のところもあり、売上/業況DIはプラスとなった。

前年同期比(平成17年1～3月比)



「価格低下による売上減」(青果卸)等、一部業種で厳しい状況だが、年度末の取引増大を反映してか、前回調査を上回りプラスとなった。また、「銀行関係(資金繰り)が和らいできた」との声も聞かれた。

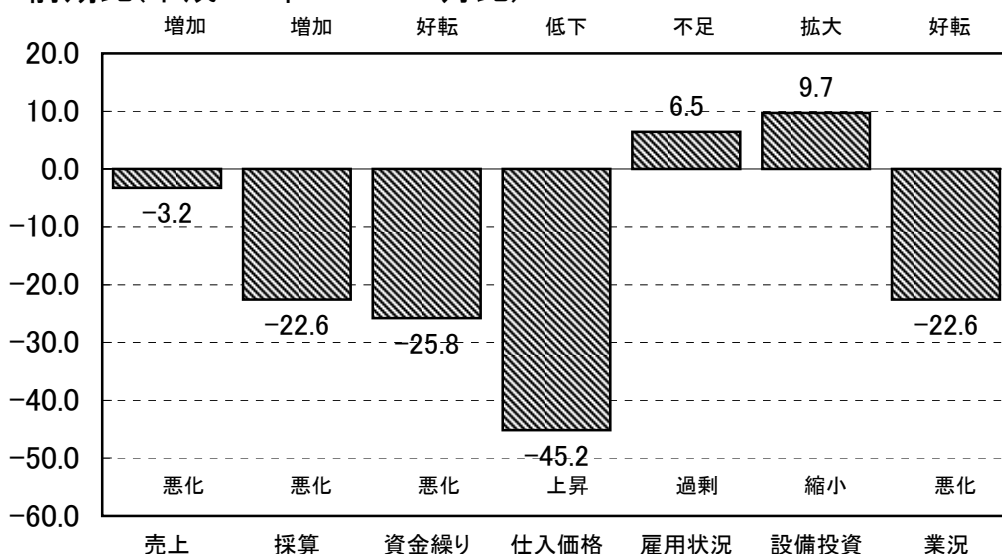
来期見通し(平成18年4～6月見通し)



今期は年度末による取引増大の恩恵もあったものの、来期は一転して悪化を予想している。特に、県内建設業不況による鉄鋼・建築資材が厳しい。

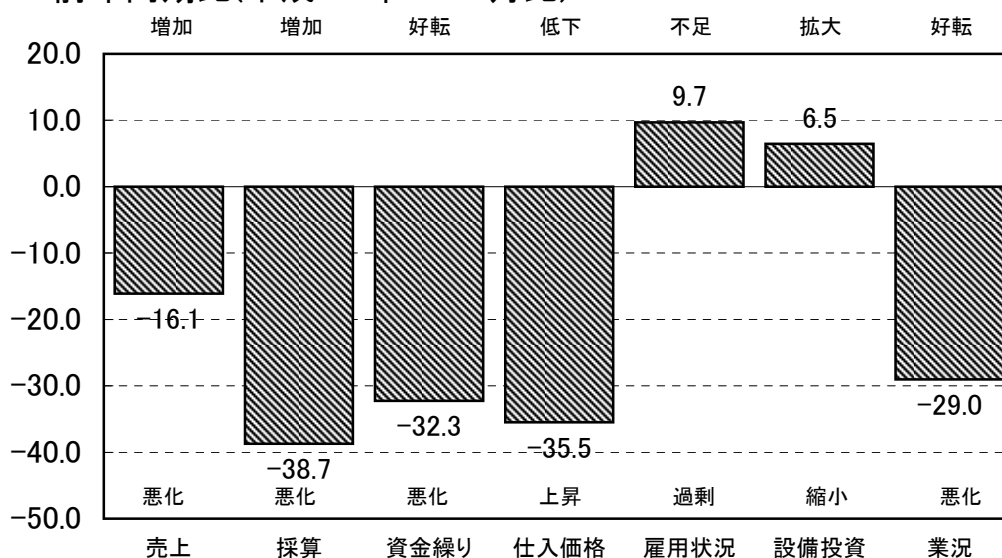
(4) 小売業

前期比(平成17年10~12月比)



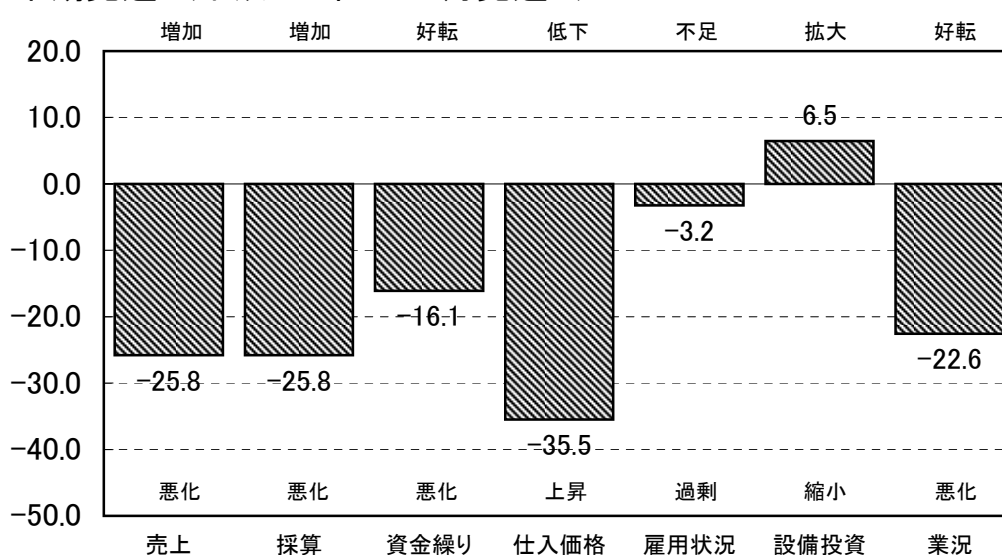
「全国的には伸びているが、地方にはまだ見えてこない」、「郊外大型店出店の一巡」、「イオンSC以降悪化」と好転/悪化のコメントが迷走。DIの数値としては、前回調査よりやや悪化している。

前年同期比(平成17年1~3月比)



一部業態では好転の声も聞かれるが、「イオンSCの影響を受けている」宮崎市内の小売業者、また「個人消費の不振」、「競争激化」は相変わらずで、小売に関しては、前年同期比もマイナスとなっている。

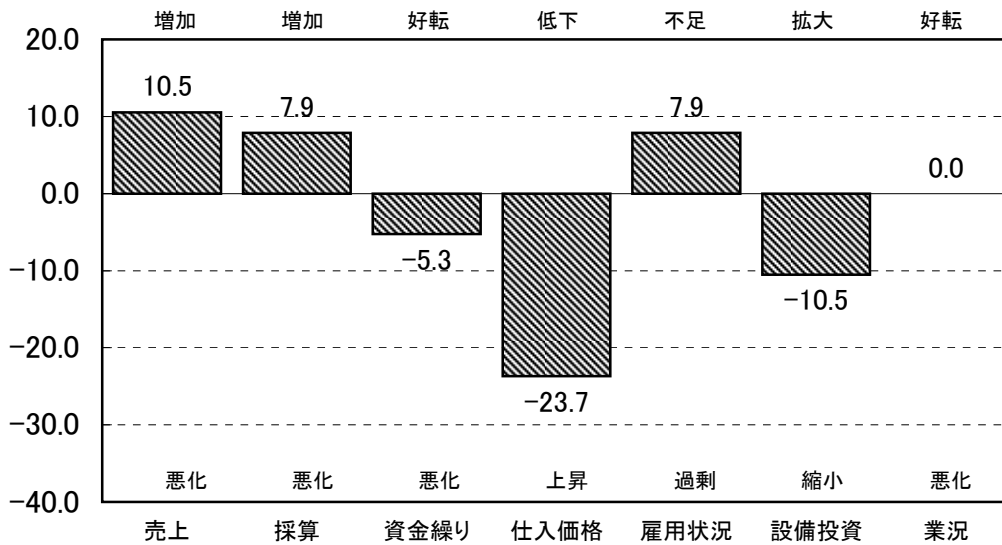
来期見通し(平成18年4~6月見通し)



一部では、「イオンSC出店の影響が落ち着いてきた」、「新入社員の需要」と明るい声が聞かれたが、まだ、個人消費の不振は解消されていない模様。また、人口減・高齢化を言及する企業もあった。

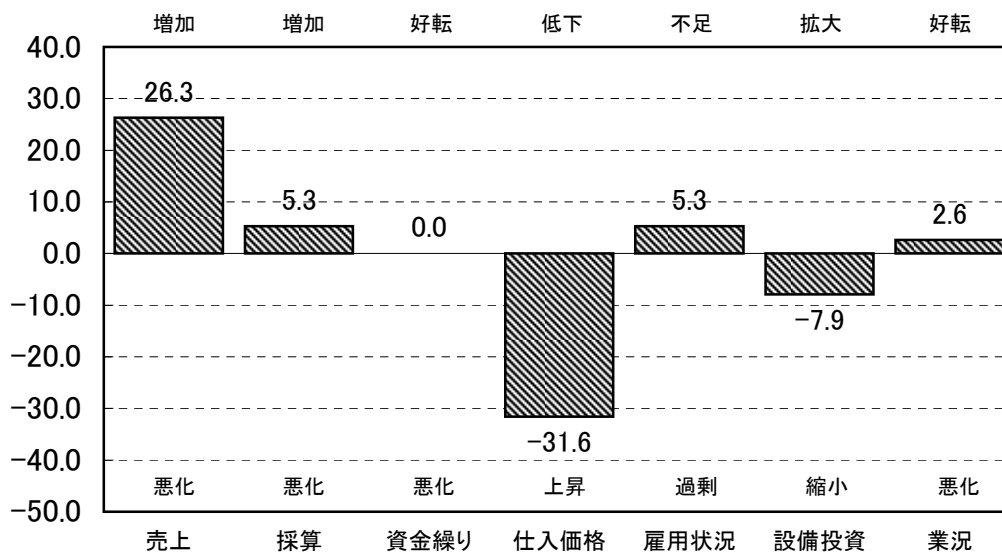
(5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成17年10~12月比)



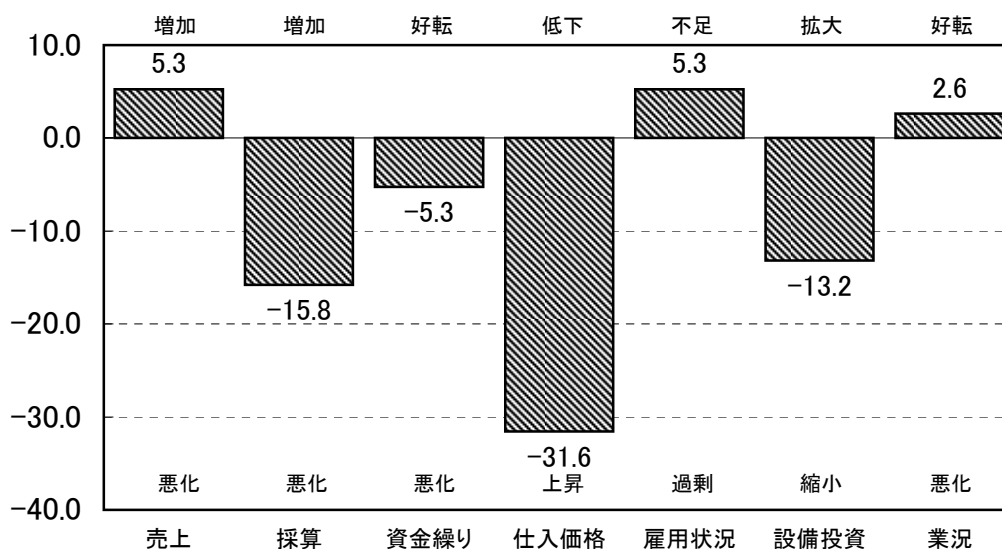
「大幅な好転はないものの、間違いなく景気がよくなっている」(放送業)のようだが、一方で、地方の「需要の停滞」、「原油価格の高騰」の影響か、前期比D I値はプラスながらも前回より悪化している。

前年同期比(平成17年1~3月比)



原油高による燃料代アップのあおりを受ける運輸/運送が厳しいが、スポーツ大会、合宿/キャンプにより、ホテル・旅館が好転。全体として、前年同期比D I値は大きく好転している。

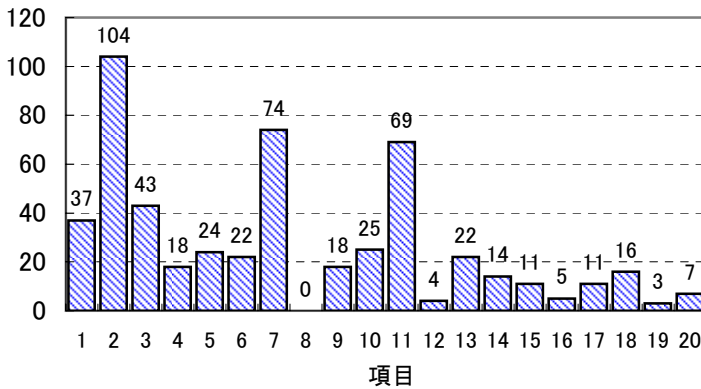
来期見通し(平成18年4~6月見通し)



「売上に多少の増はあるものの、好転している認識はまだない」と以前よりは比較的良好なコメントが多くなり、来期見通しD Iは若干であるがプラスとなった。一方、やはり原油価格高騰が響いているようである。

6. 経営上の問題点

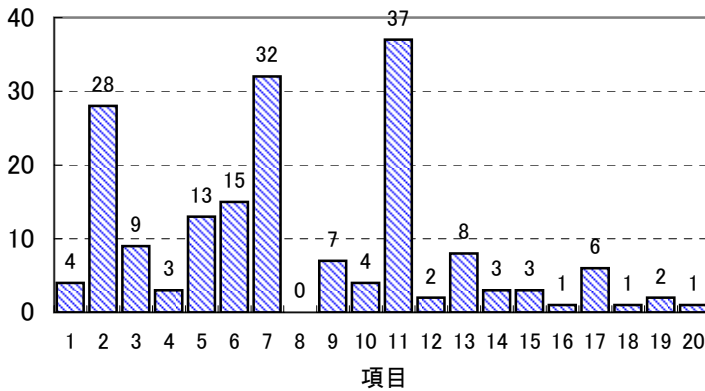
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

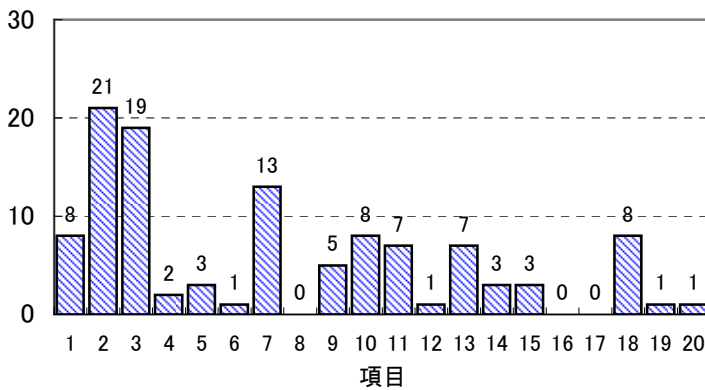
製造業



順位

- 1位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 需要の停滞
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 生産設備の不足・老朽化

建設業



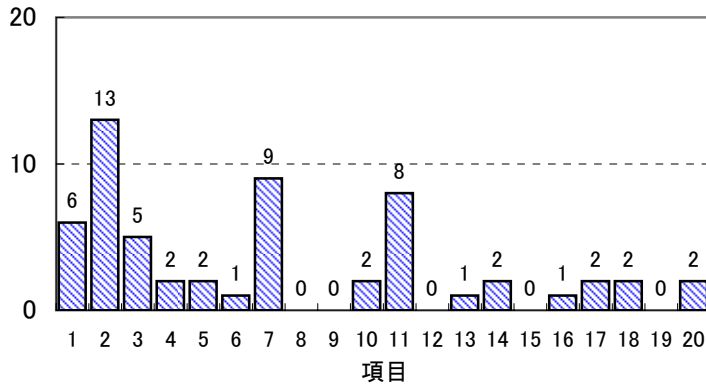
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 人件費の増加

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

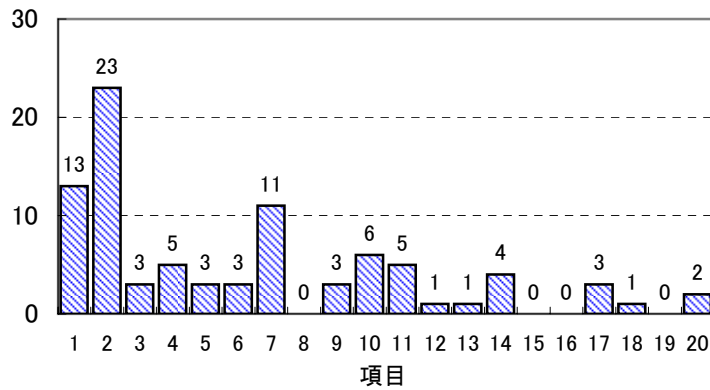
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

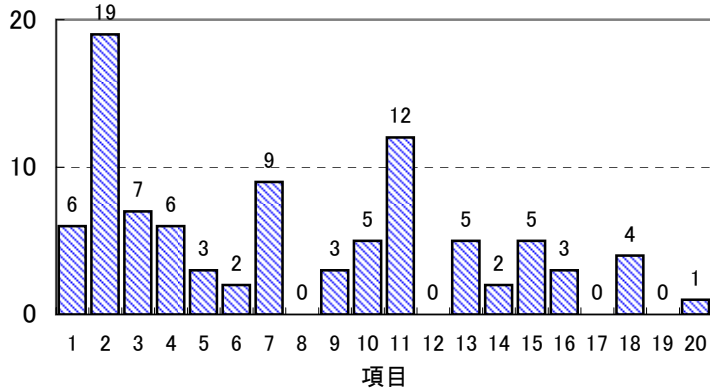
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 人件費の増加
- 5位 新規参入業者の増加

サービス業



順位

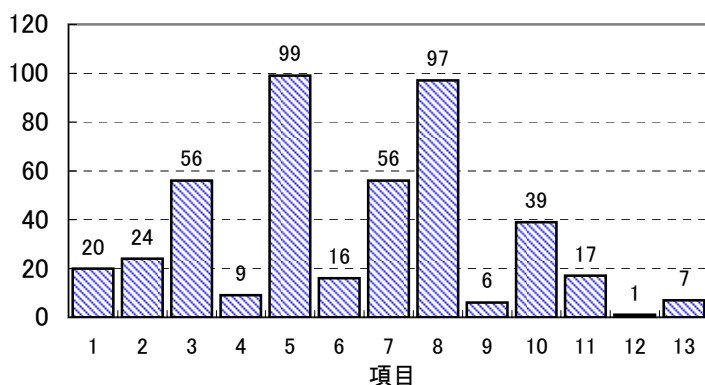
- 1位 需要の停滞
- 2位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 4位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

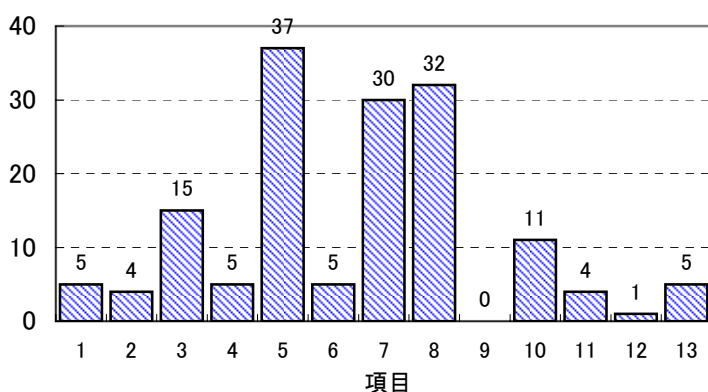
全業種



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

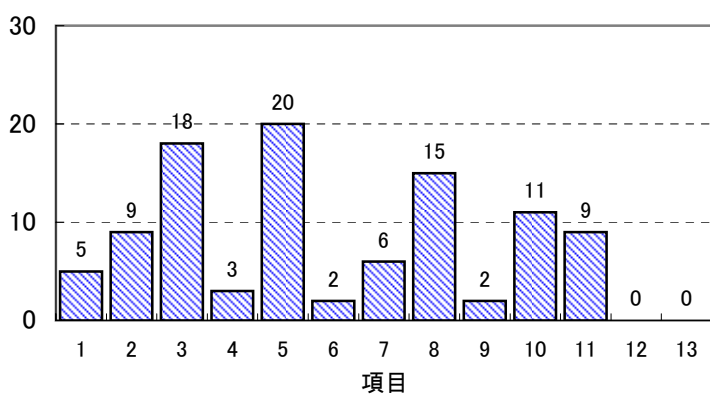
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

建設業



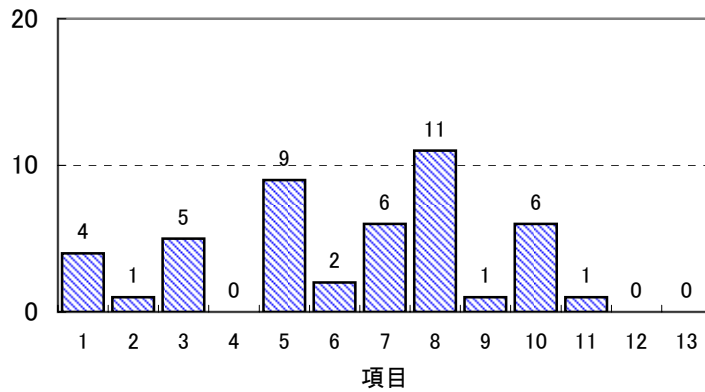
順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 雇用調整を行いたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 6. 設備投資を縮小したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | |

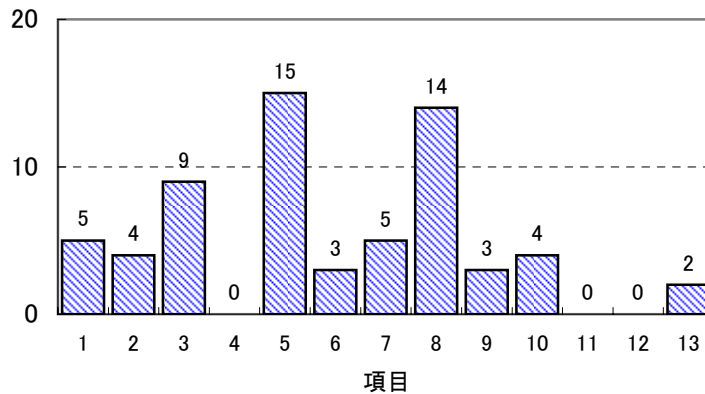
卸売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 人件費を削減したい

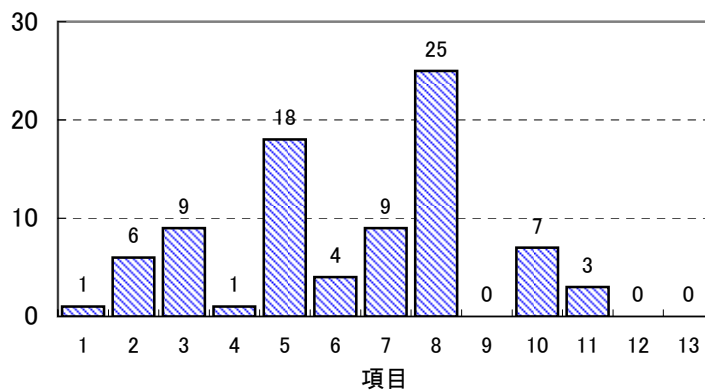
小売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	鋼材加工販売	延岡	現状の市場の中で、採算性がとれるよう設備投資を含み合理化、コストダウンをする。市場を県北以外に求める。
製造業	化学品製造	延岡	物流の多様化(環境、リスク、コスト等)を考える上で、JR貨車、船輸送へシフトしづらい。1)JRコンテナ:取扱いが5tまでしか出来ない。着地も同様。2)船輸送:危険物取扱が厳しい(細島港)
製造業	焼酎製造販売	串間	機会ある毎に、「県産酒・本格芋焼酎」を全国市場にアピール宣伝して頂きたい。特に、「地産地消」の観点から「地元産赤芋を使った焼酎」を新発売します。「地元産完熟キンカン・マンゴーを使用したリキュール類」など、あらゆる機会に宣伝拡売にご協力ご支援いただきたい。
建設業	タイル施工工事	都城	景気回復が生活の中にかがえない為、金利の引き上げ時期を慎重に検討していただきたい。
建設業	建設業	都城	「環境新時代」にやさしい“光触媒”の代理店として、新規に事業拡大を目指しているが、営業がままならぬ。
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	官製談合や随契発注など諸問題が発生しているので、公共事業の発注の方法に変化が起こるのではないかと見守っているところ。
建設業	管工事水道施設工事	宮崎	今後ほどの会社も事業の柱を複数持つことが必要。カードを何枚持っているかが「カギ」になる。事業主の高い「エネルギー」が必要。
建設業	建築工事業	宮崎	中小企業の事業継承の円滑化を図るため、事業団の土地建物取引相場のない中小企業の株式等拘束性の高い資産については、通常の遺産とは分離し、低い税率にするのか、相続税を猶予するなど抜本的な改正をお願いしたい。日本の雇用の大部分を支えている中小企業の事業継承は重要な問題である。
建設業	鉄工全般精密機械	宮崎	色々な補助金などの勉強をしていますが、なかなか中小企業が利用できるような補助金が少ないように思います。高度な研究や開発ばかりでなく、足元の合理化が我々には一番大切なのですが…。
建設業	建設業	延岡	必要な公共工事は、安定して供給してもらいたい。
建設業	建設業	延岡	昨年の台風の災害で、特需がおきており、各業者も腹いっぱい受注しているのではないかと。特に入郷の業者は3~4年分を受注していると聞いている。
建設業	建設業	日向	行政は法律をすぐに決定する。事業を経営する者としては苦勞するが、行政は苦勞している者の痛みが解っていない。(例)税金等。
建設業	建設業	日向	公共工事の増加により景気回復につなげてもらいたい。
建設業	建設業	日向	公共施設の早急な耐震補強工事の発注をお願いしたい。
建設業	建築塗装	日向	地元密着型の中小企業は多きな景気対策より一般の人に還元できるような対策を期待したい。(リフォーム対策等)
建設業	電気工事業	高鍋	電子入札、電子納品やらで、実際は簡素化とは言うものの、ソフト、ハードや専用カード等、設備投資が多すぎて、それ以上の公共工事の受注が見込まれる時代ではない。昔のようにあまりお金をかけずに事業ができる時代にもどってほしい。出来れば土木工事業だけで他の業種は必要ないと考える。実際公共工事の労務費単価は下がる一方で、原材料は上がる一方です。
建設業	土木建設業	日南	都市部においては景気回復とかデフレ脱却と言われていたが、地方はまだまだその傾向にない。5~10年遅れると予想される。競争も激化しており、生き残りをかけた経営が求められる。
建設業	建設業	日南	材料他仕入価格の上昇スピードが早い為、設計単価の見直しが追いついていないので、何らかの対策をお願いしたい。
建設業	土木建設	小林	建設業としては、公共工事の予算及び実施額の増大を望む

卸売業	建築資材	都城	地方の景気回復を早急にお願したい
卸売業	総合包装資材の卸売業	宮崎	やはり、宮崎の場合、中心街が活性化すれば、自ずと景気も回復するのではないのでしょうか？
卸売業	建設資材販売施工	延岡	地域格差の是正。均衡のとれた地域対策。
卸売業	建築資材販売	日向	景気は回復であるのは大手企業のみで、中小企業は金融関係にしばられどうしである、中小企業へてご入力をお願いしたい。県北は昨年の災害で、今年度は多少は良くなるが、以外の中小企業は大変である(県内の同業者との会話で)ことが確認されています。
卸売業	焼酎製造業	小林	酒税等税金の増加があり軽減を望む
小売業	各種時計宝飾其の他	宮崎	大企業は景気が上向いたというニュースはあるが、宮崎の中小企業は全くそのような気配はない。橋通中心街の空き店舗は今年に入って増えるばかり。家主も賃料引き下げで活性化に協力してもらいたい。そのことについての動きを起こしてもらいたい。
小売業	自動車販売整備	宮崎	購買層人口の減少の歯止め対策
小売業	ショッピングセンター	宮崎	宮崎市内への製造業の誘致
小売業	衣料品・食料品他小売	宮崎	中心市街地の活性化に商工会議所をはじめ積極的に取り組んでいただき感謝しています
小売業	酒類販売業	延岡	消費税の増税は、絶対反対です。
小売業	総合食料品スーパー	日向	特にございません。
小売業	プロパンガス	日南	国の規制緩和政策が地方と零細業にひしひしと厳しさを迫り、今や「とどめ」を刺そうとしているようだ。国も県も市町も心の目で廻りをゆっくり見てほしい。何も言うことがなくなった。
小売業	ガソリンスタンド	日南	東九州高速道の清武・北郷間の早期完成をお願いします。
小売業	石油小売	小林	石油揮発油税等の石油諸税の減額を実施して欲しい。
サービス業	貨物運送業	都城	原油高で運送業界は採算面で厳しい状況に直面している。軽油価格に含まれている軽油引取税32円の軽減により軽油価格の安定化をはかるべきだ
サービス業	曳船事業ポートサービス	宮崎	格差社会の中で九州の中でも本県のみが景気の停滞が著しいようです。
サービス業	建築設計監理経営	宮崎	地方に対する公共工事の見直し
サービス業	美容婚礼業	宮崎	国の雇用等に関わる助成金の不公正の是正
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	日本経済は景気拡大局面だと言われているが、これは、大企業及び都会のみで、地方や中小企業にはその実感がない。
サービス業	旅館業	延岡	早く、鉄道高架を実施してよそのまちに負けないだけの大掛かりな対策を講じて、交流人口を増やしてほしい。
サービス業	クリーニング業	延岡	延岡市も、北方・北浦と合併をし、延岡出身の若いリーダーが誕生しました。景気回復にむけての具体的な対策に期待するのは勿論だが、「活力のある延岡」「魅力のある延岡」になるよう期待している。
サービス業	飲食業	日向	都会では景気は上向きだという事ですが、宮崎県はまだまだ厳しい状況であり、先が見えないのが現状であります。特に資金繰りには厳しいものがありますのでもう少し融資が緩和されれば楽になると思います。
サービス業	運輸業	日向	企業誘致の促進と合わせて地場産業の育成。特に消費型産業ではなくもの造り産業を重点的に育成すべし。
サービス業	警備保障	日南	国・県・市の施設管理から民間委託される指定管理制度で財政の厳しい中で委託されると民間への業務を与えるために実施されると思う。委託会社も大変厳しく、役所から委託されている。その中で当業種も値下げされて大変である。他の面でコスト削減していただきたい。(税金の無駄使いを)

サービス業	ホテル	日南	観光地の整備とPR、イベントの開催、観光客の誘致、グラウンド等のスポーツ施設をPRし、キャンプ、合宿等の誘致活動に努めていただきたい。
サービス業	屋外広告物製作	日南	「勝ち組」「負け組」がはっきり区別されだした。国、県に期待せず、自身が努力した者が生き残れると思うし、こういうアンケートも意味がない。
サービス業	リサイクルセンター	小林	地域ごとに許認可を持っている。会社が地元へ貢献(奉仕)するように制度化する(過当競争しないため)
サービス業	温泉浴場	串間	灯油、軽油、ガソリンの税金を等分の間(1~2年)は下げてほしい。